

普及活動情勢報告（令和6年11月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

四万十町で農業しませんか！ ～新・農業人フェア（大阪）でのPR～



来場者への相談対応

10月27日、大阪市のグランキューブ大阪で「新・農業人フェア」が開催され、普及所は四万十町のブースに参加し、来場者への就農PRを行いました。

四万十町のブースには6名の来客があり、四万十町の特徴、主要品目を紹介し、就農や移住に関する支援内容など、幅広い相談に応じました。

来客者からは「新規就農者に対する支援制度について教えてほしい」「移住する際に住む場所や農地はどのように借りればよいか」などの相談があり、今後につながる情報提供ができました。

今後もこのような就農イベントに積極的に参加し、四万十町での新規就農者の確保に努めます。

品質の良いニラを出荷しよう ～JA高知県四万十ニラ部会目慣らし会～



参加者全員で出荷規格を確認

11月14日、JA高知県四万十ニラ部会の目慣らし会が開催され、生産者39名が参加しました。

目慣らし会では、品質や出荷規格について説明を受けた後、実際に包装されたニラを見比べて全員で出荷規格を確認しました。普及所からは今後警戒すべき病害について情報提供しました。

生産者からは「今年の夏は暑く管理に苦労した」「高単価時期に良いものを出荷したい」などの意見が聞かれました。

普及所では、関係機関と協力して高品質なニラの安定生産を支援します。

次作の安定出荷に向けて ～JA高知県四万十枝豆研究会出荷反省会～



品種試験結果などを説明

11月20日、JA高知県四万十枝豆研究会の出荷反省会が開催され、生産者5名が参加しました。

今作はカメムシの被害や夏期の高温による影響で、厳しい作柄となりました。

普及所からは、次作の安定出荷に向けて、作期を分散するための品種試験の結果や、カメムシの効果的な防除方法等を説明しました。

生産者からは、「市場の要請に応えられるように出荷量を増やしていきたい」「防除の省力化に向けて防虫ネットの設置も検討したい」など前向きな意見がありました。

普及所では関係機関と協力して、次年度の安定出荷ができるように支援していきます。